



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月3日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社岡村製作所
コード番号 7994 URL <http://www.okamura.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 雅行
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 佐藤 潔 (TEL) 045-319-3445
四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	150,134	7.9	5,020	58.6	5,660	45.0	3,673	37.3
25年3月期第3四半期	139,113	5.2	3,164	15.4	3,903	28.0	2,676	85.9

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 6,753百万円(127.3%) 25年3月期第3四半期 2,970百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	33.34	—
25年3月期第3四半期	24.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	187,166	91,884	48.9
25年3月期	177,959	86,367	48.4

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 91,507百万円 25年3月期 86,174百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
26年3月期	—	7.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	210,000	7.8	9,500	32.9	10,000	23.5	6,300	19.6	57.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年3月期3Q	112,391,530株	25年3月期	112,391,530株
26年3月期3Q	2,212,031株	25年3月期	2,196,231株
26年3月期3Q	110,188,856株	25年3月期3Q	110,203,899株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(セグメント情報等)	P. 11
(重要な後発事象)	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の国内景気は、中国をはじめとする新興国経済の先行き不安感が残っているものの、政府の金融緩和策や財政政策等により、円安の進行、株価の上昇が見られました。これにともない、輸出関連企業を中心に製造業・非製造業とも幅広く業況が改善、個人消費の持ち直しなど、景気の緩やかな回復がみられました。

このような状況のもと、当社グループは、新技術の採用による新製品の投入やトータル・ソリューション提案による新しい市場創出と新規顧客開拓に努めるとともに、生産性向上やコストダウンを推進してまいりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

セグメントの名称	売上高(百万円)			セグメント利益又は損失(△)(百万円)		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
オフィス環境事業	72,840	76,032	3,191	2,191	1,861	△330
商環境事業	57,984	63,667	5,682	1,469	2,616	1,147
その他	8,288	10,434	2,145	△496	542	1,038
合計	139,113	150,134	11,020	3,164	5,020	1,855

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

オフィス環境事業

オフィス環境事業につきましては、当期前半は前年度に引き続き、大型物件の減少や景気の先行きに対する慎重な姿勢による企業の投資抑制の影響により、オフィスの移転需要及びリニューアル需要とも厳しい状況で推移いたしました。このように状況のもと、オフィスの効率化や働き方の見直し、安全対策へのニーズに対応した最適なオフィス空間のあり方の提案を積極的に展開するとともに、教育・医療・文化・研究施設等のオフィス周辺市場の需要開拓に注力したことにより、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高は増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、76,032百万円(前年同四半期比4.4%増)、セグメント利益は、1,861百万円(前年同四半期比15.1%減)となりました。

商環境事業

商環境事業につきましては、グローバル展開や小型店舗づくりを行う流通小売業のニーズに適合した新製品開発を行うとともに、消費者ニーズに応えた店舗づくりや、店舗のエネルギー効率の向上、安全・セキュリティ対策、防犯対策などのトータル提案営業を積極的に展開してまいりました。また、流通小売店の新規出店及び改装受注の拡大に注力したことに加え、冷凍冷蔵ショーケースのシェア獲得に向けた取り組みや利益率の向上に努めた結果、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高、利益とも大幅に増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、63,667百万円(前年同四半期比9.8%増)、セグメント利益は、2,616百万円(前年同四半期比78.1%増)となりました。

その他(物流機器事業他)

物流機器事業につきましては、コストダウンを目的とした物流管理のアウトソーシング業、小売・卸売業、運輸・倉庫業などの有望分野に的を絞り、提案力と優位性のある製品の強みを最大限に活かしたトータル受注の拡大と、他事業との連携を強化した業種別ソリューション営業を展開したことにより、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高、利益とも大幅に増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、10,434百万円(前年同四半期比25.9%増)、セグメント利益は、

542百万円（前年同四半期は496百万円のセグメント損失）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高150,134百万円（前年同四半期比7.9%増）、営業利益5,020百万円（前年同四半期比58.6%増）、経常利益5,660百万円（前年同四半期比45.0%増）、四半期純利益3,673百万円（前年同四半期比37.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、次のとおりであります。

総資産については、前連結会計年度末から9,206百万円増加し、187,166百万円となりました。流動資産は、現金及び預金、たな卸資産の増加、売上債権の減少を主な要因として1,668百万円増加し、固定資産は、投資有価証券の増加を主な要因として7,538百万円増加いたしました。

負債については、短期借入金の増加、未払法人税等の減少を主な要因として、前連結会計年度末から3,689百万円増加し、95,281百万円となりました。

純資産については、利益剰余金の増加、その他有価証券評価差額金の増加を主な要因として、前連結会計年度末から5,517百万円増加し、91,884百万円となり、自己資本比率は0.5ポイント上昇して48.9%となりました。

当第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益5,963百万円、減価償却費3,305百万円及び売上債権の減少額8,040百万円等による増加と、たな卸資産の増加額3,087百万円及び法人税等の支払額4,266百万円等による減少の結果、9,327百万円の資金増加（前年同四半期は8,765百万円の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得3,253百万円及び無形固定資産の取得1,126百万円等による減少の結果、5,904百万円の支出（前年同四半期は5,800百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加額4,999百万円等による増加と、配当金の支払額1,349百万円等による減少の結果、2,820百万円の資金増加（前年同四半期は3,573百万円の増加）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末から6,401百万円増加（前年同四半期は6,561百万円の増加）し、32,220百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年11月1日に公表いたしました業績予想数値を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,260	33,869
受取手形及び売掛金	51,384	43,368
有価証券	321	621
商品及び製品	8,208	10,625
仕掛品	1,335	1,575
原材料及び貯蔵品	2,956	3,462
その他	3,482	3,092
貸倒引当金	△20	△16
流動資産合計	94,928	96,597
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,719	13,444
土地	22,748	23,522
その他(純額)	9,445	10,619
有形固定資産合計	45,913	47,586
無形固定資産		
のれん	1,641	1,393
その他	2,704	3,181
無形固定資産合計	4,345	4,575
投資その他の資産		
投資有価証券	23,455	28,573
その他	9,347	9,863
貸倒引当金	△31	△29
投資その他の資産合計	32,771	38,406
固定資産合計	83,030	90,568
資産合計	177,959	187,166

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,037	26,914
電子記録債務	8,218	10,806
短期借入金	6,160	11,170
1年内返済予定の長期借入金	3,170	1,433
1年内償還予定の社債	5,000	—
未払法人税等	2,831	436
賞与引当金	2,712	1,643
その他	3,960	4,108
流動負債合計	61,091	56,512
固定負債		
社債	5,000	10,000
長期借入金	7,601	8,427
退職給付引当金	13,341	14,152
その他	4,558	6,189
固定負債合計	30,501	38,769
負債合計	91,592	95,281
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,670	18,670
資本剰余金	16,759	16,759
利益剰余金	48,853	51,092
自己株式	△2,388	△2,400
株主資本合計	81,895	84,122
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,501	7,354
為替換算調整勘定	△223	29
その他の包括利益累計額合計	4,278	7,384
少数株主持分	193	376
純資産合計	86,367	91,884
負債純資産合計	177,959	187,166

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	139,113	150,134
売上原価	98,233	105,594
売上総利益	40,880	44,539
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	5,858	6,239
給料及び手当	12,823	13,420
賞与引当金繰入額	960	1,141
賃借料	4,379	4,628
その他	13,694	14,088
販売費及び一般管理費合計	37,715	39,518
営業利益	3,164	5,020
営業外収益		
受取利息	32	32
受取配当金	396	436
持分法による投資利益	229	156
その他	637	647
営業外収益合計	1,297	1,273
営業外費用		
支払利息	347	260
その他	210	373
営業外費用合計	558	633
経常利益	3,903	5,660
特別利益		
投資有価証券売却益	13	24
負ののれん発生益	—	279
補助金収入	499	—
特別利益合計	513	304
特別損失		
投資有価証券評価損	57	—
ゴルフ会員権評価損	—	1
特別損失合計	57	1
税金等調整前四半期純利益	4,359	5,963
法人税、住民税及び事業税	974	1,888
法人税等調整額	658	428
法人税等合計	1,632	2,316
少数株主損益調整前四半期純利益	2,726	3,646
少数株主利益又は少数株主損失(△)	50	△26
四半期純利益	2,676	3,673

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,726	3,646
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	148	2,840
繰延ヘッジ損益	48	—
為替換算調整勘定	21	175
持分法適用会社に対する持分相当額	26	90
その他の包括利益合計	244	3,106
四半期包括利益	2,970	6,753
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,920	6,779
少数株主に係る四半期包括利益	50	△26

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,359	5,963
減価償却費	3,223	3,305
負ののれん発生益	—	△279
固定資産除売却損益 (△は益)	96	103
持分法による投資損益 (△は益)	△229	△156
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△26	△7
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,237	△1,079
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	567	487
受取利息及び受取配当金	△429	△469
支払利息	347	260
投資有価証券売却損益 (△は益)	△13	△24
投資有価証券評価損益 (△は益)	57	—
売上債権の増減額 (△は増加)	13,757	8,040
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,768	△3,087
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,066	131
補助金収入	△499	—
その他	83	205
小計	13,221	13,392
利息及び配当金の受取額	449	491
利息の支払額	△350	△290
法人税等の支払額	△4,554	△4,266
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,765	9,327
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,397	△1,394
定期預金の払戻による収入	1,443	1,705
有形固定資産の取得による支出	△5,455	△3,253
無形固定資産の取得による支出	△721	△1,126
投資有価証券の取得による支出	△665	△884
投資有価証券の売却及び償還による収入	528	92
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△554
補助金の受取額	497	—
その他	△31	△488
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,800	△5,904
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,571	4,999
長期借入れによる収入	3,605	1,407
長期借入金の返済による支出	△2,378	△2,318
社債の発行による収入	—	5,000
社債の償還による支出	—	△5,000
自己株式の取得による支出	△2	△8
配当金の支払額	△1,142	△1,349
その他	△79	91
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,573	2,820

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	22	158
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,561	6,401
現金及び現金同等物の期首残高	26,179	25,818
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,740	32,220

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	オフィス 環境事業	商環境 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	72,840	57,984	130,825	8,288	139,113	—	139,113
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	72,840	57,984	130,825	8,288	139,113	—	139,113
セグメント利益又は損失(△)	2,191	1,469	3,661	△496	3,164	—	3,164

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流機器事業及び流体変速機事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	オフィス 環境事業	商環境 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	76,032	63,667	139,699	10,434	150,134	—	150,134
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	76,032	63,667	139,699	10,434	150,134	—	150,134
セグメント利益	1,861	2,616	4,477	542	5,020	—	5,020

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流機器事業及び流体変速機事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。